

# 市議会だより



発行 伊東市議会 議長 久保谷 廠司  
編集 議会報編集委員会  
伊東市議会事務局  
電話32-1981(直通) FAX38-6916

大室山



### ① 伊東市文化財史蹟保存会

第35回「伊東祐親まつり」5月29日(土)・30日(日)

「歴史と文化の薫る街・伊東」  
伊東の中興の祖 伊東祐親公を顕彰!!



### ② 伊東市善意通訳の会

大室山火口部を案内中

おもてなしの心を持って  
伊東のいいところ 世界に発信!!



### ③ 花の応援団

椿のクラフト体験教室の様子

花をテーマに住みたい訪れたいまちづくりに  
取り組んでいるボランティアグループです。



### ④ NPO法人 森のボランティア

「伊東の桜を守る協働作戦」作業中!!

急がず・慌てず、できる人ができることを  
モットーに活動しています。

伊東市を支える協働の  
**カ**  
その2

表紙は「いとろ」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。  
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 3月定例会の概要……………【P.2】
- 代表質問(6議員が登壇)……………【P.6】
- 一般質問(4議員が登壇)……………【P.9】
- 常任委員会だより……………【P.11】
- 特別委員会中間報告……………【P.12】

### 活動団体の問い合わせは

- ① 伊東市文化財史蹟保存会  
事務局 → TEL 36-7726
- ② 伊東市善意通訳の会  
事務局(小西恒男) → TEL 36-9828
- ③ 花の応援団  
伊東市観光課 → TEL 32-1716
- ④ NPO法人 森のボランティア  
会長(岩城俊二) → TEL 55-3101

# 平成22年3月定例会

平成22年度一般会計予算を賛成多数で可決！  
9特別会計、2企業会計についても可決

3月定例会を2月25日から3月25日までの29日間の会期で開会しました。

## 市長施政方針 (要旨)

我が国経済は、依然として厳しい状況にあり、深刻な経済危機に直面しております。

このような中、市内経済に活気を取り戻すため、これまでの間、総額八億八〇〇〇万円に上るプレミアム商品券「伊東温泉湯めぐりポン」の発行、中小企業者等に対する経営安定のための金融支援、離職者の就労を目的として新たな事業を企画する「ふるさと雇用再生特別基金事業・緊急雇用創出事業」など、市内経済の状況に応じた緊急経済雇用対策、地域振興・活性化策を積極的かつ迅速に講じてまいりました。

新年度は、市政運営の最重要課題を「伊東再生」から「伊東創造」へと目標を高め、それを実現させるための「健康」、「観光」、「改革」、「経済対策」、「子育て支援」、「教育」、「環境」及び「危機管理」の「いとう8K」を重点施策とする中で、これら八つの重点施策をさらに進め、「いとう8

Kの発展・充実」を目指してまいります。

特に、期待が高まっている新市民病院につきましては、平成二五年春の開院を目標し、より高度な医療機能を備えた病院の建設工事に着手してまいります。

また、「伊東八景」を初めとした伊東の自然・歴史・温泉文化等を活用した新たな観光施策・地域振興策の創設、事務事業の整理合理化・財源確保に大きな効果をもたらした「伊東市システム」の定着、「現場主義」・「目的指向」・「意識改革」の推進、これらを図るとともに、私自身、今まで培ってきた人脈をさらに生かし、今後も国・県や関係機関等へトップセールスを行ってまいります。

「伊東創造」の実現という大きな目標を抱き、住む人も訪れる人も幸せを享受することができ、住みたい訪れたい自然豊かなやすらぎのまち「伊東」の実現を目指してまいります。

### 平成22年度各会計予算

全会一致で可決、賛成多数で可決 (単位: 千円、%)

会計	区分	当初予算額	前年度対比	審議結果
一般会計		22,474,000	107.1	
特別会計	下水道事業	2,258,000	100.6	
	競輪事業	14,054,000	102.1	
	国民健康保険事業	9,844,000	100.9	
	土地取得	32,600	98.2	
	老人保健	11,633	15.6	
	霊園事業	71,300	101.3	
	介護保険事業	5,183,548	107.9	
	介護老人保健施設	51,500	130.7	
	後期高齢者医療	1,344,702	98.6	
病院事業会計		4,548,990	110.9	
水道事業会計		2,844,409	100.0	
合計		62,718,682	104.4	

病院事業会計及び水道事業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額

### ■主な新規事業

(全体では68の新規事業があります。)(千円)

議員研修会開催事業	100
夢まちづくり事業	10,000
介護老人福祉施設整備補助事業	165,000
子ども手当給付事業	776,705
災害時要援護者避難支援事業	700
不妊治療費補助事業	2,000
ごみ処理基本計画策定事業	203
エコマイハウス支援事業	1,920
玖須美元和田滝ヶ沢地内予防治山事業	20,000
伊東温泉お手湯整備事業	6,000
伊東温泉和文化演出活用事業	4,660
韓国・中国・台湾特別誘客推進事業	2,500
伊東温泉集中送客補助事業	1,500
小室山公園テニスコート改修事業	12,100
静岡県・伊東市総合防災訓練事業	10,000
中学校施設耐震化事業	20,000
幼稚園施設耐震化事業	46,700
インターネット蔵書公開システム導入事業	1,272

本会議で  
行なった討論  
(概要)



平成22年度一般会計予算起立採決

平成二二年度伊東市一般  
会計予算

《反対》日本共産党

市の臨時職員について、その賃金を総務管理費に集約し、市三役により、その配置を査定することであるが、年度当初は、従来配置されていた臨時職員の大幅な減員が見込まれることから、業務に大幅に支障を来すことが懸念される。

また、従来の年齢給を、経験加算のない職務給に改めることは、先進的であった賃金体系を後退させるとともに、同じ臨時職員であ

る防災専門官等の賃金と比較しても一貫性に欠け、「同一労働同一賃金」体系の本来のあり方にも反することや、公がワーキングプアを生むことにつながる点からも認められない。

また、中学校給食について、県下で本市四中学校のみ未実施であるが、学校給食とは直接かかわりを持たない弁当注文販売促進費が計上されており、実現のための施策とは考えられない。

さらに、県交通安全指導員や伊東地区防犯協会への負担金等を本市の負担としていることも改善されていないことなどから反対する。

《賛成》公明党

限られた財源の有効活用を図るべく、「伊東創造」への各種施策の展開に鋭意努力された当局各位に敬意を表する。

まず、インバウンド等の各種の観光商工施策は的を射た施策と言え、新規事業の松原・鎌田緑改良事業等は、安心・安全のまちづくりにへの取り組みとして、消

防費における自動心臓マッサージ機構購入事業等は、市民の命を守る取り組みとして、教育費における中学校や幼稚園の耐震化事業は、伊東っ子の命を守る事業として、それぞれ評価する。

また、国民読書年として、読書への取り組みは、感性を醸成する上でも大切なものであり、教育委員会の前向きな姿勢に期待する。

さらに、衛生費における、女性特有のがん検診推進事業等を評価するとともに、「医観連携システム」の構築への方向づけや、「救急医療情報キット」導入へ向けた取り組みなど、「命」をキーワードとして政策を推進しようとする市長の考えを支持し、賛成する。

《賛成》民主党・刷新の会

市当局の努力はつかえなが、前年度と比較して目新しいものがなく、無難な予算編成であると思われる。

本市最大の課題である新市民病院建設には、金利を含めた起債総額九一億六五〇〇万円余の経費を要し、

市民の命を守るための医療を存続しながら、三〇年もの期間にわたり償還し続けることは市民にとって大きな負担ではなかるうか。

また、市長が世直し予算と言われた二二四億七四〇〇万円の編成内容については、具体的な世直し施策はうかがえず、求人倍率が低迷する中、失業者に対する配慮が必要ではなかったかと考えられる。

今日まで、健康・観光・改革を旗印に市政の運営を考え、試行錯誤している姿はうかがえるが、それが実にならない歯がゆさは、市長ばかりではなく私ども議員も同じである。

苦境の中、本市のさらなる発展のため、市当局及び議会が一丸となって進んでいくという心構えが必要であると申し上げ、賛成する。

《賛成》清峰クラブ

昨年一二月に起きた群発地震の影響を受け、依然として厳しい経済状況が続く中、対前年度一四億九四〇〇万円アップの二二四億七

四〇〇万円の予算を編成したことは評価するものである。

また、五年前から取り組まれた行政改革、言うならば事業仕分けを先進的に実施したことにより、財政の健全化が確実に図られているものと思われ、この成果が本予算に反映されており、職員の協力と理解、市長の決断なくしてはなし得ないものである。

新年度においても、増大する社会保障費を見据える中で、継続して雇用機会を創出することにより、社会保障を支える市民が一人でもふえる施策を展開していただきたい。

さらに、観光施策の充実や公共事業の拡充など、今以上の政策展開をお願いし、伊東市民が将来に希望を持てるまちづくりを願いつつ、我々議員もさらなる研さんを積むことをお誓いして、賛成する。

《賛成》正風・興志会

財源構成を見ると、自主財源比率五五・八%と、行

市 議 会 だ よ り

政運営の自主性等は弱くな  
つており、歳入の根幹をな  
す市税収入では、前年度よ  
り一〇億円近い減額である。  
このような厳しい予算の中、  
行財政改革に取り組み、市  
民サービスの向上に努め、  
簡素で効率的な職場環境づ  
くり而努力をされたことは  
評価する。

また、伊東創造のための  
「いとう8K」を行政経営  
の前面に打ち出し、市民の  
行政ニーズを的確にとらえ、  
国・県等への積極的なトッ  
プセールスを重ね、着実に  
成果を上げている市長の姿  
勢を高く評価する。

しかしながら、市債は前  
年度に比較し増額しており、  
健全な財政運営への配慮が  
必要であり、収入未済額の  
徹底した徴収や、さらなる  
歳出削減の研究も重要な課  
題である。

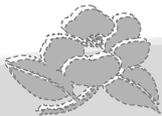
一〇年先の行財政状況を  
的確に見据え、ぶれない政  
策と強いリーダーシップを  
発揮され、市民生活と福祉  
の向上を図られることを要  
望し、賛成する。

「後期高齢者医療制度」  
の即時廃止を求める意見  
書提出を求める陳情

《採択に賛成》日本共産党

後期高齢者医療制度は、  
「高齢期における医療費の  
適正化」を名目に、「医療  
費の抑制」を目的として、  
医療が最も必要な七五歳以  
上の高齢者を別枠にし、設  
けられた高齢者差別制度で、  
医療給付費の一定割合を保  
険料で負担するため、医療  
費総額がふえると、保険料  
が上がる仕組みになってい  
るのみならず、医療の自身  
も抑制していく方向が出さ  
れていることが問題である。

もとの老人保健制度は、  
高齢者が現役世代と同じ医  
療保険に加入したまま、窓  
口負担を軽減する仕組みで、  
年齢による保険料などの差  
別がないことから、当面、  
同制度に戻すとともに、子  
供と高齢者の医療費無料化  
を国の制度として進める方  
向を目指すべきだと考える。  
こうした観点から、本陳  
情の採択に賛成し、委員会  
の決定に反対する。



市議会3月定例会で審議した議案等

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市認第17号	平成21年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第2号）専決処分の報告承認について	南関カップ開催に伴う開催経費の増額として、21億6,106万円を追加するため、2月3日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市議第36号	伊東市一般職の職員の給与に関する条例及び伊東市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告による国家公務員の一般職の給与に関する法律等の改正に伴う時間外勤務手当の改定、時間外勤務代休時間の新設などを行うための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第37号	伊東市立夜間救急医療センター条例及び市立伊東市民病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	条例の規定中使用料等の額について、厚生労働省の告示する『診療報酬の算定方法』としていた部分を、健康保険法及び高齢者の医療の確保に関する法律の規定とする条例改正	市長	全会一致で可決
市議第38号	伊東市火災予防条例の一部を改正する条例	個室型店舗等の個室の外開き戸について、避難通路に面するものについては、開放した場合に自動的に閉鎖し、避難路の確保ができるようにすることなどの規定を加える条例改正	市長	全会一致で可決
市議第39号	駿豆地区広域市町村圏協議会の廃止について	平成22年度をもって同協議会を廃止するに当たり、法の定めに基づき議決が求められるもの	市長	全会一致で可決
市議第40号	平成21年度伊東市一般会計補正予算（第7号）	国の「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を受けての市道補修、かどの球場芝生の張りかえ、焼却灰溶融固化処理委託費、年末に発生した群発地震対策としての誘客宣伝経費の追加、医療施設設置基金の寄附の積み立て、各特別会計に対する繰出金など、2億9,855万8,000円を追加	市長	全会一致で可決
市議第41号	平成21年度伊東市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	受益者負担金前納報償金、漏水などによる使用料の減免に伴う還付金の追加等、50万5,000円を追加	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第42号	平成21年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	療養給付費や高額療養費などの増額に伴い、1億6,566万円を追加	市長	全会一致で可決
市議第43号	平成21年度伊東市老人保健特別会計補正予算（第1号）	医療給付費、医療費支給費などの減額整理のほか、第三者行為納付金及び老人保健過誤調整返還金などの追加により、4,344万3,000円を減額	市長	全会一致で可決
市議第44号	平成21年度伊東市霊園事業特別会計補正予算（第1号）	歳出では人件費の整理、歳入では、当初見込みより増加した墓所使用料の追加等で、29万5,000円を追加	市長	全会一致で可決
市議第45号	平成21年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	歳出では保険基盤安定負担金の増額、歳入では保険料、一般会計繰入金金の減額のほか、繰越金、運営費負担金の追加等で、265万円を追加	市長	全会一致で可決
市議第46号	平成21年度伊東市病院事業会計補正予算（第1号）	収益的収入に788万円、収益的支出に1,716万4,000円を追加し、資本的収入を1,138万3,000円、資本的支出を571万5,000円減額	市長	全会一致で可決
市議第47号	平成21年度伊東市水道事業会計補正予算（第2号）	収益的収入を6,022万7,000円、収益的支出を531万7,000円減額し、資本的収入を145万2,000円、資本的支出を1億637万2,000円減額	市長	全会一致で可決
市議第48号 市議第59号	平成22年度伊東市一般会計予算、以下、9特別会計と2企業会計予算	予算の概要については、2ページをござんください。	市長	2ページをござんください。
市選第4号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	鈴木節男氏（富戸）	市長	全会一致で選任に同意
市諮第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	小林洋子氏（八幡野）	市長	全会一致で推薦に同意
発議第9号	子宮頸がん予防のワクチンの公費負担を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 6名	全会一致で可決
陳情第9号	「後期高齢者医療制度」の廃止を求める意見書採択に関する陳情	陳情者 全日本年金者組合伊東支部 支部長 立石悦也氏		不採択とすべしとした委員会報告に対し賛成多数で不採択



傍聴席から見た本会議の様子

市政に対する真剣な議論や、あなたが貴重な一票を投じた議員の発言などを直接ござんになってみてはいかがでしょうか。

傍聴席入り口で記名等をしていただくだけの簡単な手続で傍聴することができ、希望される方は、議会事務局（市役所低層棟三階）まで気軽にお越しください。

議会を傍聴してみませんか？

議会内の異動

平成二二年二月二五日  
付で議会運営委員会委員  
を変更しました。

議会運営委員会  
新 宮崎雅薫委員  
旧 楠田一男委員

市議会では、市民の皆様へ情報をお届けするため、ホームページを開設しています。主な内容は次のとおりとなっていますので、ぜひご覧ください。

- 市議会の仕組み
- 市議会の構成
- 議員名簿
- 歴代議長・副議長一覧
- 委員会委員一覧
- 平成21年版市政の概要（抜粋版）
- 定例会・臨時会のお知らせ
- 議会閉会中の活動状況

- 行政視察
- いとう市議会だより
- 市議会の傍聴を！
- 請願・陳情・決議・意見書とは？
- 市議会図書室のご利用案内
- 市議会の情報公開請求
- お問い合わせは
- 会議録検索システム



伊東市議会  
ホームページの  
ご案内

伊東市議会

# 代 表 質 問

平成22年度 各会計予算及び市長の政治姿勢について  
(全会派から) 6 議員が登壇 (登壇順に掲載)

「観光圏や「ジオパーク」の期待が高まる中、伊豆地域の連携に係る取り組みと展望について伺う



民主党・刷新の会  
鈴木克政 議員

伊豆地域二市三町による観光圏は、順調なスタートではなかったと思われる。さらに、ジオパークを観光面からとらえた場合、ユネスコが支援するネットワークに参加するなどの検討が必要であると思われる。両制度は、伊豆地域の将来にとって大変魅力的であり、本市が中心となつて伊豆全体の連携を図る必要があると思われるが、現状での取り組み状況と今後の展望について伺う。

伊豆観光圏整備計画認定に向けた準備を進めるほか、県と連携し、伊東市ジオパーク構想推進検討会を設置し、調査研究を進めていく

市長

観光圏計画については、伊豆地域が幅広い連携を図る中で誘客を促すもので、東海岸二市三町において、「伊豆観光圏整備推進協議会」を設立し、整備計画の策定及び実施計画の認定に向け、国土交通省中部運輸局に認定申請書を提出したところである。

また、ジオパーク構想については、静岡県知事が伊豆半島の成り立ちに着目して提唱したものであり、伊豆半島六市六町首長会議において、ジオパークの認定に向け、伊豆全体で取り組んでいくことが確認されたところである。

本市においても、ジオパーク構想につながる素材の掘り起こしなどの情報収集のために、県とも連携して伊東市ジオパーク構想推進検討会を設置し、調査研究を進めていく。

『その他の質問項目』  
予算編成に重点施策をいかに反映させたか伺う  
本市基幹産業である観光

振興策について

「夢まちづくり事業」におけるP・D・C・Aマネジメントサイクルの実施状況



観光圏認定へ向け、伊豆地域全体での連携が求められる

市税滞納繰越分の徴収計画について伺う



会 志  
正風・興 議員  
宮崎雅 薫

平成二〇年度決算を見ると、本市は現在、大変大きな累積滞納額を抱えている。滞納整理に当たっては、法律知識や交渉力などが必要のため、担当者の知識やノウハウ、指導力向上の研修

制度や、現地調査などの実践教育の必要性を感じる。

現在では、県の滞納整理機構が組織され、多額、悪質な滞納案件の徴収を委託しているが、本市においても専門部局を設置するなどして、可及的速やかに未済額の徴収を進めるべきと考えるが、市税等の滞納分の徴収策をどのように計画されているのか伺う。

「インターネット公売」の実施など税収の確保を図る

市長  
市税の滞納に対しては、口座振替やコンビニ収納の利用を促進して、滞納の圧縮に努め、納付困難な納税者には、納税相談や分納の促進などを行っている。

また、財産調査を行い、差し押さえ処分等を行う中で、「インターネット公売」の実施なども予定している。徴収困難な滞納事案については、「静岡地方税滞納整理機構」に移管し、既に成果が上がっている。

今後、徴収事務のより

( 1 ) 科学的に貴重な地質や地形を持った自然公園

一層の効率化を図り、収納率の向上に努め、税収の確保を図っていく。

『その他の質問項目』

- ・平成二二年度予算の編成と行財政運営について
- ・市内の経済状況の把握と市税の積算について
- ・新病院建設等の大型事業における市債借入計画や償還について
- ・人件費について
- ・各種手当の見直し状況
- ・平成二二年度以降の退職者数と退職手当
- ・職員の定員管理計画
- ・能力や職責に応じた給与と体系について
- ・扶助費の動向について
- ・生活保護世帯の推移
- ・就労支援について



収納率の向上に努める伊東市

古くて新しい温泉の活用方法や魅力づくりについて



清峰クラブ  
佐々木 清 議員

日本有数の温泉湧出量を誇る本市において、多くの来遊客がおり立つ伊東駅周辺に、温泉に触れられる場所がないが、温泉には、そのいやし効果がストレス解消につながるなど、大きな役割が求められている。

そこで、男女が一緒に温泉を楽しむための、欧米型の「風呂専用着」の開発を提案するとともに、斬新な取り組みにより、伊東温泉にふさわしい温泉の活用を求めるが、いかがか。

お手湯の整備など、温泉情緒の創出を図り、温泉に触れる機会を提供していく

市長

伊東温泉は、江戸幕府に温泉を献上した由緒ある温

泉であるとして、毎年七月「和田の大湯」を東京の住吉神社に奉納し、伊東温泉の故事来歴を広報している。

また、温泉の活用と魅力づくりは、本市の産業振興に不可欠なものと認識しており、新たにお手湯を市街地に整備するなど、温泉情緒とにぎわいの創出を図り、温泉と触れ合う機会を提供していく。

『その他の質問項目』

- ・時代の転換期の行政運営
- ・情報集積基地を設け、活力あるまちづくりに向けた施策を
- ・観光戦略としての異業種間検討会の設立を
- ・市内経済の改善・回復策
- ・伊豆の魅力向上による本市活性化への施策は
- ・まちづくり事業の推進による景気浮揚策は
- ・快適で安心・安全な暮らしやすいまちづくり
- ・要介護者や障害者のQOL向上のための市民病院との連携と、介護拠点の整備について
- ・別荘分譲地定住者と市

街地在住者との交流センターの開設について

・子供たちが落ち着いて学べる環境整備と、将来への夢を描ける社会の実現への考えは



温泉情緒の創出

市内経済対策として、耐震工事の実施、低入札制の見直しについて



日本共産党  
佐藤美音 議員

リーマンショックに端を発した世界的恐慌は、日本で年越し派遣村等、特徴的にあらわれ、本市においても、市民税の減少等、市

民生活への影響が感じられる。このような社会情勢の中、公共施設の耐震補強工事等は、国庫補助もあり、経済対策に非常に有効的であり、多少起債がふえても、積極的に取り組むべきと考えるが、いかがか。

また、最近、調査基準価格以下の入札が多く見られ、このことにより、労働者の賃金や福利の低下等を招くことが懸念されており、低入札価格調査制度の見直しについて伺う。

財政状況を勘案しながら、公共施設の耐震工事を実施していきたい

市長

現在、建設業界の中小企業の受注機会確保を目指し、市独自の経済対策を行うとともに、平成二二年度から公共施設の耐震補強を学校施設に対し、計画の前寄せを含め実施しており、今後財政状況を勘案する中で取り組んでいきたい。

低入札価格調査制度については、税込み設計価格一



耐震化工事が完了した南小体育館

三〇万円を超える建設工事に適用されており、該当した場合は、賃金や、労働条件等も含めて確認している。今後も適正な制度となるよう、研究していきたい。

『その他の質問項目』

平成二二年度予算に関し、以下の点について伺う

- ・臨時職員削減に伴う、業務への支障について
- ・市立保育園の民営化方針の見直しについて
- ・市史編さん事業の進捗状況について
- ・公契約条例について
- ・起債を含めた、今後の財政運営について

火山群の活動に対するハザードマップの作成が必要ではないか

総合計画策定過程におけるP・D・C・Aマネジメントサイクルの反映状況及びその強化策としてシンクタンク設立の可能性を伺う



21 輝 稲葉富士憲 議員

本市の行政改革におけるP・D・C・Aマネジメントサイクルは、地方自治法第二条第一四項に規定する「最少の経費で最大の効果」を目指すものであると考えられるが、第四次総合計画策定過程における反映状況C・A・Pである評価・改善・計画過程の強化策として、シンクタンク設立の可能性について伺う。

それぞれの分野で成果が出ており、シンクタンクの設置は考えていない

市長

第四次総合計画において、長期的な視野でのP・D・C・Aマネジメントサイクルを構築し、目的指向

型行政運営の考え方を取り入れ、経営視点に立つた計画にしたいと考えている。

具体的には、現在の目的指向体系の目的や指標を精査・検討した上で、伊東創造の実現に向けた新たな目標を設定し、第四次総合計画の施策目標として掲げる。また、新年度に向けた施策の構築や見直しに当たり、有効性の評価や合理化・効率化を追求するなど、P・D・C・Aマネジメントサイクルを確立し、一定の成果を上げている。

さらに、P・D・C・Aマネジメントサイクルの推進のため、各課から選出した行革リーダーに対する研修を行い、今後も資質向上に努めていくため、現状では新たにシンクタンクを設けることは考えていない。

『その他の質問項目』

財政運営について

- ・今後の公債費、人件費の推移をどのように予測しているか

市民ボランティア活動に対する本市の姿勢を伺う

市民ボランティア活動に対する本市の姿勢を伺う

南部地域の八幡野川、対島川、赤沢川における治水対策について



行革リーダー研修

インターネット公売事業について



公明党 楠田一男 議員

地方自治体にとって、歳入を削減し、歳入の根幹をなす地方税を確実に収納することが課題であり、税収増を図る上で、インターネット公売が注目されている。平成一六年に東京都で導入され、県内でも三島市、熱海市などが実施している。

税の公平性の観点や悪質な滞納者へ毅然とした態度で臨むためにも、インターネット公売事業に対する期待は大きいと考えるが、同事業への基本的な姿勢、メリット及び実施時期を伺う。

積極的に展開・活用し、税収の確保につなげたい

市長

滞納者への対策としては、これまでも納税相談を初めとした方策を講じているが、資力があるにもかかわらず、滞納が解消されない納税者に対し、インターネット公売を積極的に展開・活用し、税収の確保につなげたい。

また、メリットとして、全国から二四時間いつでも入札が可能のため、多くの入札参加者が見込まれ、より高い落札価格が期待できるとともに、滞納者へのアナウンス効果により納税意識の高揚につながると考えている。

実施時期としては、滞納者宅への財産調査を行い、

( 2 ) 自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの ( 3 ) 諸分野に関する政策立案、政策提言を主たる業務とする研究機関

本年の夏ごろを計画している。

『その他の質問項目』

災害時要援護者避難支援事業について

小・中学校と幼稚園の耐震化工事の完了までの実施計画について

女性特有のがん検診の具体的な取り組みについて

安心・安全なまちづくり

・不用品回収業者から市民を守るルールづくり

・オートバイ盗を未然に防ぐ対策について

医療と観光を連携させた「メデイカルツーリズム」について

国民読書年に係る取り組みについて

「キッズ安心タクシー」の認定制度について

「キッズ安心タクシー」の認定制度について

「キッズ安心タクシー」の認定制度について



インターネット公表

# 一 般 質 問

## 4 議員が登壇 市政全般について質問

(登壇順に掲載)

川奈地区における市道と、現在、県事業で四車線化が進められている国道との交差点の整備計画について



民主党・刷新の会 横沢 勇 議員

現在、川奈殿山から吉田までの国道の四車線化が計画されているが、小室町の市道及び私道から国道に入る場合、市街地方面への右折が簡単にできなくなると思われる。

通勤、買い物などの利便性の観点からしても、右折可能箇所の整備は市民にとって大変重要な問題である。地域住民への影響が軽減できるよう、配慮していただくとともに、整備に向けた計画の状況を伺う。

安全確保を第一と考え調整を行っている

市長

国道の殿山交差点から伊東商業高校前交差点までの

間に、信号機のない交差点が七カ所あり、国道への出入りが日常的に危険な状況である。

四車線化を実施すると、国道からの右折進入や、市道からの右折もできなくなり、地域の方々の生活に支障が出ることや、無理やり右折して事故等を招くことも考えられる。

このため、安全確保を第一に、交通環境の改善も考慮する中で調整を行っている。具体的な計画については、今後、地域ごとに説明会を実施する予定である。

『その他の質問項目』  
教育関係施設の安全性と維持管理について  
「伊東市健康保養地づくり事業」について



4車線化が計画されている殿山交差点

医療を観光に結びつけるシステムづくりについて



清峰クラブ 井戸清司 議員

適切な医療等を受けるには、個人の健康、医療に関する情報を、個人で把握しておく必要がある。

欧米の数力国において、アレルギーの情報や通院の記録等をカード等に記録し、必要に応じて開示することで、医療処置等のサービスが受けられる「健康医療情報システム」の活用が図られている。

また、同システムを観光的に活用することにより、健康プログラムの開発、宿泊型健康診断等、他の観光地との差別化が図られると考えるが、いかがか。

システム構築には課題もあることから、普及動向を注視しつつ検討していきたい



個人の医療情報を記録した救急医療情報キット

市長

本市では、「おくすり手帳」等、個人の健康等に関する情報を記録する方式がとられている。

「ご提案のシステムは、国内ではまだ普及しておらず、個人情報保護の観点や、費用面等の課題もあることから、普及の動向を注視し、検討していきたい。」

『その他の質問項目』

- ・社会福祉について
- ・夜間保育所等について
- ・熱海伊東地区地域自立支援協議会について
- ・医療と観光の連携
- ・医療と消防の広域連携
- ・女性医師等の在籍状況
- ・市内に看護専門学校が必要ではないか

認可地縁団体に類似する一般社団法人への法人市民税課税について伺う



民主党・刷新の会 四宮和彦 議員

伊東市税賦課徴収条例において「公益社団法人及び公益財団法人」は法人市民税の減免対象と規定されているのに対し、法人税法上同一課税区分に分類される「非営利型一般社団法人」が減免されない理由を伺う。さらに、認可地縁団体として減免されない一般社団法人への対応について伺う。

市長

一般社団法人は、市民税の減免の対象となっていない。社団法人等に対する法人市民税の課税について、収益事業を行わない場合には、法人均等割のみが課税されるが、公益社団法人、公益財団法人、地縁団体、NPO法人については、伊東市

税賦課徴収条例第五条の規定により減免の対象となっている。

一方、社団法人については、制度改正により平成二〇年一月一日から、従前の社団法人が「一般社団法人」と、公益性が認定される「公益社団法人」とに区分けがなされ、一般社団法人については、その事業目的に制限もなく、登記のみによって設立できることとなったため、市民税の減免の対象となっていない。

『その他の質問項目』

伊東市の公の施設に係る指定管理者の指定手続等について伺う  
市営スポーツ文化施設の利用実態等について伺う  
ほか



市税業務を取り扱う課税課

伊東は移住者が多い、これこそ究極の健康保養地では



日本共産党 重岡秀子 議員

「健康保養地づくり」は、政府が長期連続休暇取得の推進を図ることを目的とした政策であるが、現実的には一泊二日が約七〇%を占める。しかし、本市の自然に魅せられて移住する方も多く、これこそが究極の滞在型であり、まちづくりの根幹であると考えます。

健康保養地づくり構想にある「滞在型」とは、そうしたとらえ方が必要ではないか。

中長期間の滞在を可能とする環境整備を行っている

市長

滞在型観光とは、滞在地を拠点とし、保養やレジャー等の周辺観光を楽しむ形態であり、これにより経済

波及効果やリピーター化を期待するものである。

本事業では、豊富な自然・文化等を生かした多種多様なプログラムによる滞在型保養地づくりを目指し、中長期間の滞在を可能とする環境整備を行っている。

『その他の質問項目』

健康保養地づくり構想のさらなる充実について  
・ウオーキングコースの整備・宣伝について  
・伊東らしい「食」の研究と普及活動について  
・現市民病院の跡地をリハビリセンターに  
伊東駅周辺の景観整備について  
イベント情報を全市に広げる手だてについて



豊富な自然を生かした滞在型保養地づくり

# 常任委員会だより

～ 常任委員会審査の中から～

- ◆詳細は、市議会会議録の委員会審査報告をごらんください。
- ◆市議会会議録は、市役所、図書館、各コミュニティセンターにあるほか、ホームページでもごらんになれます。

## 総務委員会

問

ごみ有料化から1年が経過したが、ごみの排出状況の変動について伺う。

答

可燃ごみの排出量は、平成20年度が35,177t、本年度が3月末で32,111tと予測され、昨年度と比較してもリバウンドはなく、排出量が減少していることから、ごみの減量化は成功していると考えます。

問

ことしの9月に予定されている静岡県・伊東市総合防災訓練の内容について伺う。

答

連携をメインテーマに、より実践的で実効性のある訓練とするため、5つのエリアに分散して実施するが、詳細については、現在県と調整中で、最終的には7月ごろに決定する見込みであり、決定した段階で通知していきたい。



昨年度における防災訓練（富戸小）

## 観光建設委員会

問

城ヶ崎遊歩道における、看板の老朽化等への対応やトイレ整備について伺う。

答

新年度では、門脇から海洋公園までの整備を予定しているが、現場を確認した上で、緊急を要するものは早期に対応していく。また、トイレについては、土地の所有者の同意が得られることが前提であるが、整備したいと考えている。



市指定文化財の城ヶ崎海岸ポットホール

問

下水道の接続率向上に向けた施策について伺う。

答

現状、1万円の助成金や、無利子で40万円まで借りられる制度等があり、公平性など考慮し、より効果的な補助を検討しているが、浄化槽の維持管理経費よりも下水道使用料のほうが割安であることの説明をすることで、接続への理解を求めている。

## 福祉文教委員会

問

湯川保育園の指定管理者による管理への移行に伴う臨時職員の雇用状況について伺う。

答

十分な検討期間を設け、継続して就労していただけるよう対応し、減員となる臨時職員23名のうち、9名が雇用される予定である。



指定管理者による管理となる湯川保育園

問

児童・生徒数の減少に伴い生じた余裕教室の活用状況について伺う。

答

子供たちの関心・意欲が多岐にわたる中で、以前から活動的な授業を中心として、少人数指導や課題別の総合的な学習等に活用している。

問

書道教育推進事業の効果について伺う。

答

書道を通じた心の教育、上達していく過程をみずから実感することでの自己肯定感の形成につながっている。

# 特別委員会中間報告



## 議会改革特別委員会

### 議員政治倫理条例の 制定に係る協議終結

二月一日に委員会を開催し、前回に引き続き、委員からの提起事項である議員政治倫理条例等の制定及び他の提起事項に係る協議を行った。

まず、議員政治倫理条例等の制定に関し、市長を初め特別職も対象にすることが前提との意見を主張する会派から、改めて同趣旨の主張がされるとともに、「条例制定に向けた協議に入ることはできない」との申し出がされたため、同条例の制定に係る協議の続行はできないことが確認され、協議を終結することとした。

次に、議会のインターネット中継について、協議に入ることにし、協議を行った。

委員からの意見を踏まえ、

インターネット中継における経費や運用面を含め、他の状況を調査し、その結果に基づき協議を行うことが確認された。

次に、各議員の採決における賛否の公表については、熱海市における調査結果などを踏まえ、次回以降引き続き協議を行うこととした。

## 医療問題特別委員会

### 新市民病院の 診療科に関する協議

一月二六日に委員会を開会し、新市民病院の診療科に関する協議を行った。

まず、当局から、伊東市新病院建設基本構想で示された一七診療科に関し、決定の経緯、各診療科の説明等がされ、委員からは、救急対応の方向性、口腔外科の必要性及び心療内科設置に対する考え方等に関し質疑がされた。

これに対し、救急対応に



新病院建設地視察

ついては、本市の転院搬送患者の特徴を勘案し二・五次救急の確立を目指しており、口腔外科は、採算性等を勘案し未設置であるが、将来的に需要が増加することが考えられ、今後、検討は必要と考えており、心療内科は、本市においても患者数の増加が著しく、市民要望も大きいことから、充実させていくことを考えているとの答弁がされた。

協議終了後、建設現場の視察を行い、南伊東駅までの間における徒歩によるアクセス等の確認を行った。

なお、当局から、地域医療振興協会が、公益社団法人としての認定を受けたことが、報告された。

## 竹田昭直議員が 急逝



市議1期 62歳  
故 竹田昭直議員

竹田昭直議員が三月二三日に急逝されました。三月定例会最終日、黙禱をささげ、全議員を代表して、重岡秀子議員が追悼演説を行いました。竹田議員の多大なるご功績をたたえ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

## 六月定例会の予定

15・16・17日	本会議（一般質問）
18日	本会議（議案審議）
21日	常任観光建設委員会 常任福祉文教委員会
22日	常任総務委員会
25日	本会議（最終日）

6月上旬の議会運営委員会において正式に決定します。

## 編集後記

葉桜のすきまから、まばゆい日差しが差し込んでくるきょうこのごろ、近い夏への期待が膨らみます。

さて、四月一日付の人事異動により、担当職員も変更となりました。

市議会が市民の皆様に近い存在としてより親しんでいたできるよう、限られたスペースの中で効率的に市議会の活動をお伝えできる紙面構成を心がけていきたいと思えます。（委員長）

### 議会報編集委員会

委員長 重岡 秀子  
副委員長 稲葉 富士憲  
委員 西島 和彦  
" 榎本 元彦  
" 楠田 一男

市議会に関するご意見

「質問は議会事務局へ  
伊東市大原二丁目一番一号  
TEL(三三)一九八一  
FAX(三八)六九一六

次回六月定例会は  
六月一五日開会予定です